

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年3月31日
【四半期会計期間】	第58期第3四半期（自 2019年11月16日 至 2020年2月15日）
【会社名】	株式会社ツルハホールディングス
【英訳名】	TSURUHA HOLDINGS INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 堀川 政司
【本店の所在の場所】	札幌市東区北24条東20丁目1番21号
【電話番号】	(011)783-2755
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 村上 誠
【最寄りの連絡場所】	札幌市東区北24条東20丁目1番21号
【電話番号】	(011)783-2755
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 村上 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期 第3四半期連結 累計期間	第58期 第3四半期連結 累計期間	第57期
会計期間	自2018年5月16日 至2019年2月15日	自2019年5月16日 至2020年2月15日	自2018年5月16日 至2019年5月15日
売上高 (百万円)	586,548	625,608	782,447
経常利益 (百万円)	32,657	37,405	43,313
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	19,448	23,303	24,824
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	16,356	27,957	22,395
純資産額 (百万円)	214,070	240,948	220,214
総資産額 (百万円)	356,463	440,994	372,293
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	402.67	481.87	513.84
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	400.78	480.24	511.70
自己資本比率 (%)	55.9	50.8	55.0

回次	第57期 第3四半期連結 会計期間	第58期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年11月16日 至2019年2月15日	自2019年11月16日 至2020年2月15日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	134.61	160.19

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社の異動については「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご参照ください。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

なお、2019年12月以降に中華人民共和国湖北省武漢市において発生した新型コロナウイルスによる感染症の感染拡大による事業への影響については、予断を許さない状況であるため今後も注視してまいります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間(2019年5月16日～2020年2月15日)における経済情勢は、国内景気の緩やかな回復基調が続いたものの、台風などの自然災害の影響、さらに消費増税前の駆け込み需要と増税後の反動減に加え、新型コロナウイルス感染症による国内外経済への影響や金融資本市場の変動などの懸念から、先行きはやや不透明な状態で推移いたしました。

一方、ドラッグストア業界においては、競合他社の出店や価格競争が一層激化する中、企業の統合・再編への動きもさらに強まっており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループではカウンセリングを主体とした接客サービスの徹底を継続して行うとともに、高齢化や競争激化に伴う商圈縮小に対応すべく利便性の強化を図るため、食品売場を中心に既存店舗の改装を推進したほか、プライベートブランドにおいては、商品開発・販売体制を強化し、当社グループの新たなプライベートブランド「くらしリズム」「くらしリズムMEDICAL」への刷新と展開拡大を図りました。また、店舗運営業務の効率化を図り生産性を高めることを目的に、人員配置・在庫管理等をサポートするシステムの導入に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、ドミナント戦略に基づく地域集中出店および既存店舗のスクラップアンドビルドを推進したことにより、期首より95店舗の新規出店と57店舗の閉店を実施いたしました。また2019年7月4日付で株式会社ツルハが有限会社おおがたむら調剤薬局(秋田県)を子会社化したことにより1店舗が加わり、当第3四半期末のグループ店舗数は直営店で2,121店舗となりました。

当社グループの出店・閉店の状況は次のとおり

(単位：店舗)

	前期末 店舗数	出店	子会社化	閉店	純増	第3四半期 末店舗数	うち 調剤薬局
北海道	401	21	-	19	2	403	96
東北	482	19	1	4	16	498	93
関東甲信越	456	24	-	16	8	464	153
中部・関西	223	9	-	4	5	228	107
中国	299	6	-	7	1	298	88
四国	198	16	-	6	10	208	54
九州	23	-	-	1	1	22	3
国内店舗計	2,082	95	1	57	39	2,121	594

上記のほか、海外店舗22店舗、F C加盟店舗4店舗を展開しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は6,256億8百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益365億28百万円(同15.7%増)、経常利益374億5百万円(同14.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益233億3百万円(同19.8%増)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて687億1百万円増加し、4,409億94百万円となりました。おもな要因は、金融機関休業日であったことによる現金及び預金と売掛金の増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて479億67百万円増加し、2,000億45百万円となりました。おもな要因は、金融機関休業日であったことによる買掛金の増加等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて207億33百万円増加し、2,409億48百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は4.2ポイント減少し、50.8%となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	152,000,000
計	152,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年2月15日)	提出日現在発行数(株) (2020年3月31日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	49,262,568	49,263,368	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	49,262,568	49,263,368	-	-

- (注) 1. 「提出日現在発行数」欄には、2020年3月1日から、この四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。
2. 発行済株式のうち41,000株は、譲渡制限付株式報酬として、金銭報酬債権合計511百万円を出資の目的とする現物出資により発行したものです。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(百万円)	資本金残高(百万円)	資本準備金増減額(百万円)	資本準備金残高(百万円)
2019年11月16日～ 2020年2月15日 (注)1	5,300	49,262,568	35	10,152	35	43,436

- (注) 1. 新株予約権行使による増加であります。
2. 2020年2月16日から2020年2月29日までの間に、新株予約権の行使により発行済株式総数が800株、資本金および資本準備金がそれぞれ5百万円増加しております。

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年11月15日）に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【発行済株式】

2019年11月15日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 886,200	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 48,357,500	483,575	-
単元未満株式	普通株式 13,568	-	-
発行済株式総数	49,257,268	-	-
総株主の議決権	-	483,575	-

【自己株式等】

2019年11月15日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
(株)ツルハホールディングス	北海道札幌市東区北24条東20丁目1-21	886,200	-	886,200	1.80
計	-	886,200	-	886,200	1.80

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年11月16日から2020年2月15日まで）および第3四半期連結累計期間（2019年5月16日から2020年2月15日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,833	81,191
売掛金	26,745	41,013
有価証券	1,000	1,000
商品	98,212	107,140
原材料及び貯蔵品	52	57
短期貸付金	2	2
その他	15,983	15,386
流動資産合計	184,830	245,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,992	36,919
機械装置及び運搬具(純額)	2	1
工具、器具及び備品(純額)	10,264	10,687
土地	11,938	12,506
リース資産(純額)	3,707	3,951
建設仮勘定	348	1,829
有形固定資産合計	61,254	65,895
無形固定資産		
のれん	35,733	32,972
ソフトウェア	402	433
電話加入権	87	87
その他	583	657
無形固定資産合計	36,806	34,149
投資その他の資産		
投資有価証券	27,925	31,394
長期貸付金	15	13
繰延税金資産	4,926	4,141
差入保証金	52,048	55,181
その他	4,581	4,514
貸倒引当金	96	91
投資その他の資産合計	89,401	95,155
固定資産合計	187,462	195,200
資産合計	372,293	440,994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月15日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,254	137,391
1年内返済予定の長期借入金	2,406	1,903
未払金	13,445	13,854
リース債務	562	522
未払法人税等	9,514	5,212
賞与引当金	4,651	2,462
役員賞与引当金	566	407
ポイント引当金	4,208	4,152
その他	4,172	7,854
流動負債合計	126,783	173,763
固定負債		
長期借入金	7,153	5,726
リース債務	4,154	4,076
繰延税金負債	5,567	7,399
退職給付に係る負債	2,695	2,894
資産除去債務	2,815	2,894
その他	2,908	3,292
固定負債合計	25,295	26,282
負債合計	152,078	200,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,023	10,152
資本剰余金	28,075	28,205
利益剰余金	154,896	170,994
自己株式	5,311	5,312
株主資本合計	187,684	204,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,370	20,004
退職給付に係る調整累計額	132	92
その他の包括利益累計額合計	17,238	19,912
新株予約権	1,292	1,578
非支配株主持分	13,999	15,417
純資産合計	220,214	240,948
負債純資産合計	372,293	440,994

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月16日 至 2019年2月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)
売上高	586,548	625,608
売上原価	420,219	444,895
売上総利益	166,328	180,713
販売費及び一般管理費	134,749	144,185
営業利益	31,578	36,528
営業外収益		
受取利息	107	98
受取配当金	171	185
備品受贈益	605	545
受取賃貸料	142	159
受取補償金	94	-
受取保険金	71	9
その他	403	498
営業外収益合計	1,596	1,497
営業外費用		
支払利息	396	465
中途解約違約金	74	108
その他	46	45
営業外費用合計	517	619
経常利益	32,657	37,405
特別利益		
固定資産売却益	48	6
投資有価証券売却益	-	102
新株予約権戻入益	47	-
特別利益合計	95	108
特別損失		
災害による損失	79	-
固定資産除却損	84	149
固定資産売却損	51	-
投資有価証券売却損	-	74
特別損失合計	215	223
税金等調整前四半期純利益	32,537	37,291
法人税、住民税及び事業税	9,688	10,613
法人税等調整額	1,682	1,424
法人税等合計	11,370	12,038
四半期純利益	21,166	25,252
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,718	1,949
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,448	23,303

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月16日 至 2019年2月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)
四半期純利益	21,166	25,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,831	2,661
退職給付に係る調整額	20	43
その他の包括利益合計	4,810	2,704
四半期包括利益	16,356	27,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,660	25,977
非支配株主に係る四半期包括利益	1,695	1,980

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社の(株)ツルハが(有)おおがたむら調剤薬局の株式の100%を取得したため、同社を連結の範囲に含めておりましたが、第2四半期連結会計期間において連結子会社の(株)ツルハが同社を吸収合併したことにより、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結子会社の(株)ツルハは一部の店舗の差入保証金(前連結会計年度258百万円、当第3四半期連結会計期間225百万円)について、金融機関および貸主との間で代位預託契約を締結しており、当該契約に基づき、金融機関は、貸主に対して差入保証金相当額(前連結会計年度258百万円、当第3四半期連結会計期間225百万円)を同社に代わって預託しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月16日 至 2019年2月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)
減価償却費	5,566百万円	5,714百万円
のれんの償却額	2,983	2,764

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年5月16日 至 2019年2月15日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月18日 取締役会	普通株式	3,663	76.00	2018年5月15日	2018年7月20日	利益剰余金
2018年12月18日 取締役会	普通株式	3,528	73.00	2018年11月15日	2019年1月10日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月17日 取締役会	普通株式	3,626	75.00	2019年5月15日	2019年7月19日	利益剰余金
2019年12月17日 取締役会	普通株式	3,579	74.00	2019年11月15日	2020年1月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品・化粧品等を中心とした物販事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月16日 至 2019年2月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月16日 至 2020年2月15日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	402円67銭	481円87銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	19,448	23,303
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	19,448	23,303
普通株式の期中平均株式数(株)	48,299,173	48,360,734
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	400円78銭	480円24銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	227,630	164,379
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	2018年9月4日取締役会決議第9回新株予約権(新株予約権の数 3,755個)	2018年9月4日取締役会決議第9回新株予約権(新株予約権の数 3,659個)

## 2【その他】

2019年12月17日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決定いたしました。

配当金総額 3,579百万円

1株当たり配当金 74円00銭

効力発生日 2020年1月10日

(注) 2019年11月15日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年3月31日

株式会社ツルハホールディングス  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山下 和俊 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 田辺 拓央 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ツルハホールディングスの2019年5月16日から2020年5月15日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年11月16日から2020年2月15日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年5月16日から2020年2月15日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ツルハホールディングス及び連結子会社の2020年2月15日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。